

札幌市観光文化局スポーツ部 御中

ラグビーワールドカップ2019調査業務
報告書

平成26年8月29日

株式会社 電通北海道

目 次

	(頁)
(1)大会内容調査	1
ア 開催都市として負担する経費の積算及び大会規模	2
（ア）開催までに必要となる経費	2
（イ）開催に係る運営経費	6
（ウ）周辺の仮設物等を含めた試合会場施設整備費	8
（エ）想定される札幌大会の開催規模（期間、観客数等）	9
イ 試合開催会場調査	10
（ア）試合開催時における競技場のレイアウト等	10
（イ）試合会場の必要設備等	10
ウ 警備・安全対策	11
（ア）警備計画、警備体制の調査	11
（イ）防災対策等	11
エ 輸送計画	12
（ア）来場者等の輸送手段	12
（イ）駐車場（試合開催会場及び周辺区域）	12
オ 大会準備調査	13
（ア）開催地決定年以降のマーケティング活動	13
カ クリーンゾーン調査	21
（ア）試合会場における500メートルクリーンゾーンに含まれる 主要な商業施設、広告看板等の調査	21
(2) 経済効果調査	22
ア 大会開催における経済波及効果	23
＜要旨＞ 1.経済波及効果計算の方法	23
2.前提条件	24
3.ラグビーワールドカップにおける経済波及効果	26
（ア）札幌市の経済波及効果	26
（イ）北海道の経済波及効果	26
（ウ）日本全体の経済波及効果	26
(3) 過去大会調査	30
ラグビーワールドカップ(RWC)過去大会概要	31
ア 過去大会の運営費用等の調査	32
イ 経済効果、観客数、観光客数等	32

(1)大会内容調査

ア 開催都市として負担する経費の積算及び大会規模

(ア) 開催までに必要となる経費

2016年度				
運営費				
項目	内容・仕様	数量等	金額(円)	備考
基本計画作成	計画策定に伴う事務運営経費	一式	3,000,000	
2016年度 運営経費 計			3,000,000	
広報・PR経費				
項目	内容・仕様	数量等	金額(円)	備考
①札幌大会啓発用配布PRツールの作成・広報媒体費関係				
大会ロゴ・マーク・スローガン制作	デザインマニュアル含む	一式	3,000,000	
大会公式ポスター作成	B2判4色	10000枚	1,000,000	発送費別途
大会及び札幌市PRパンフレット作成	A4判20P4色 日本語版50,000部、英語版10,000部	60000部	8,200,000	発送費別途
大会PR用チラシ作成	A3二つ折り両面4色	50000部	1,000,000	発送費別途
PRビデオ(DVD)	日本語版・英語版各5分	一式	9,600,000	
大会啓発用配布PRグッズ作成	ピンバッジ5,000個、ステッカー10,000枚	15000個	5,250,000	
商標登録費	大会ロゴ、スローガン、キャラクター	一式	1,000,000	
大会ホームページ開設	日本語版・英語版	一式	8,000,000	
マスコットキャラクター一般公募	未定		別途	組織委員会経費
新聞公募告知	道新・朝日・毎日・読売(道内版) 全5段×3回	一式	11,155,200	
②国内イベントプロモーション展開				
各イベントリーフレット広告原稿制作	1種共通A4判想定	一式	60,000	
札幌ドーム開催告知広告掲出	ドームとの個別交渉		別途	
③海外PRプロモーション展開				
プレスキット、記者会見、展示PR	ロールアップスクリーン、配布用カウンター等	一式	1,720,000	発送費別途
関係会議、関係スポーツ競技大会他の活動費	未定		別途	組織委員会経費
2016年度 広報経費 計			49,985,200	
2016年度 計			52,985,200	
			消費税	4,238,816
2016年度 合計			57,224,016	

2017年度				
運営費				
項目	内容・仕様	数量等	金額(円)	備考
基本計画作成	計画策定に伴う事務運営経費	一式	3,000,000	
2017年度 運営経費 計			3,000,000	
広報・PR経費				
項目	内容・仕様	数量等	金額(円)	備考
①札幌大会啓発用配布PRツールの作成・広報媒体費関係				
マスコットキャラクター着ぐるみ制作	備品含む	3体	6,000,000	
大会啓発用配布PRグッズ作成	マスコットぬいぐるみ	1000個	2,500,000	
	キーホルダー、ピンバッジ、クリアファイル、ボールペン、メモ帳	30000個	10,500,000	
大会ポスター(2017年度版)作成	B2判4色	10000枚	1,000,000	発送費別途
大会PRパンフレット増刷	A4判20P4色 日本語版30,000部・英語版5,000部	35000部	3,350,000	
大会PR用チラシ作成・増刷	A3二つ折り両面4色	50000枚	750,000	
大会ホームページ運営管理	情報ページ追加、運営管理、年間更新	一式	3,600,000	原稿支給想定
新聞大会告知	道新・朝日・毎日・読売(道内版) 全10段×1回	一式	7,485,000	
②広報・PRイベント及びプロモーション関係				
カウントダウンモニュメント関連	製作、除幕式、カウントダウンボード点灯式	一式	9,000,000	
③国内イベントプロモーション展開				
各イベントリーフレット広告原稿制作	1種共通A4判想定	一式	60,000	
札幌ドーム開催告知広告掲出	ドームとの個別交渉		別途	
④海外PRプロモーション展開				
プレスキット運搬	未定		別途	発送先確定後
関係会議、関係スポーツ競技大会他の活動費	未定		別途	組織委員会経費
⑤連携事業費				
市庁内PR活動	パネル制作・パネル展実施	一式	2,500,000	
2017年度 広報経費 計			46,745,000	
2017年度 計			49,745,000	
消費税			3,979,600	
2017年度 合計			53,724,600	

2018年度 ※プレ大会開催年				
運営費				
項目	内容・仕様	数量等	金額(円)	備考
基本計画作成	計画策定に伴う事務運営経費	一式	3,000,000	
2017年度 運営経費 計			3,000,000	
広報・PR経費				
項目	内容・仕様	数量等	金額(円)	備考
①札幌大会啓発用配布PRツールの作成・広報媒体費関係				
大会応援ソング(イメージソング)作成	アーティストへ依頼(北海道出身者など)	一式	8,000,000	
プレ大会用公式ポスター(2018年度版)作成	B2判4色	10000枚	1,000,000	発送費別途
大会PRパンフレット増刷	A4判20P4色 日本語版30,000部・英語版5,000部	35000部	3,350,000	
大会PR用チラシ作成・増刷	A3二つ折り両面4色	50000枚	750,000	
大会ホームページ運営管理	情報ページ追加、運営管理、年間更新	一式	3,600,000	原稿支給想定
新聞大会告知	道新・朝日・毎日・読売(道内版)全10段×1回	一式	7,485,000	
大会啓発用配布PRグッズ作成	必要に応じて購入		別途	
②国内イベントプロモーション展開				
各イベントリーフレット広告原稿制作	1種共通A4判想定	一式	60,000	
各イベントPRキャラバン実施	年間延べ40日間程度	一式	12,000,000	
札幌ドーム開催告知広告掲出	ドームとの個別交渉			
雪まつり会場イベントプロモーション実施	大雪像製作、PRステージ、ブースプロモーション	一式	30,000,000	
1年前イベント実施	メモリアルコンサート	一式	15,000,000	
③海外PRプロモーション展開				
プレスキット制作	PR内容デザイン変更・配布用クリアファイル	一式	900,000	発送先確定後
関係会議、関係スポーツ競技大会他の活動費	未定		別途	組織委員会経費
④連携事業				
市庁内PR活動	パネル制作・パネル展実施	一式	2,500,000	
2018年度 広報経費 計			84,645,000	
2018年度 計			87,645,000	
消費税			7,011,600	
2018年度 合計			94,656,600	

2019年度 ※運営費は「(イ)開催に係る運営経費」に記載 ※下記広報・PR経費の一部は開催時にも渡る				
広報・PR経費				
項目	内容・仕様	数量等	金額(円)	備考
①札幌大会啓発用配布PRツールの作成・広報媒体費関係				
本大会用公式ポスター(2019年度版)作成	B2判4色 8タイプ×各3,000枚	24000枚	4,400,000	
大会公式ガイドブック作成	B5判64P4色 日本語版10,000部・英語版5,000部	150000部	30,600,000	
大会リーフレット作成	A2判二つ折両面4色 日本語版100,000部 英語版50,000部	150000部	8,200,000	
大会ホームページ運営管理	情報ページ追加、運営管理、年間更新	一式	3,600,000	原稿支給想定
新聞大会告知	道新・朝日・毎日・読売(道内版)全5段×10回	一式	35,504,000	
北海道新聞 記事体広告特集	4Pカラー	一式	14,500,000	
テレビスポット チケット販売告知	15・30秒CM制作、道内民放5局	一式	27,000,000	
テレビ大会PR特別番組	道内民放1局 土日9-17時 55分放映	一式	7,000,000	
テレビ大会PRミニ枠	道内民放1局 平日20-23時 2分30秒放映	一式	15,000,000	
ラジオスポット チケット販売告知	20秒CM制作、道内民放4局	一式	4,400,000	
地下鉄Aライン	南北・東西・東豊線 2期4週間	一式	14,440,000	
地下鉄柱巻広告	札幌駅・大通駅 2期4週間	一式	10,360,000	
シティスケープ(バス停)広告	1期2週間	一式	12,100,000	
街頭ビジョン(駅前、4プラ、チカホ、ヒロシ)	1日15秒×40本 3か月	一式	4,500,000	
サイネージ(札幌駅前ビジョン「ミニプロモーション枠」)	南北セット 1日15秒×約600本 13週	一式	3,900,000	
JR中吊ワイド枠	札幌⇄千歳 15期90日間	一式	4,742,000	
商業施設壁面バナー広告	3か月間	一式	7,200,000	
駅前通街路灯バナー	未定		別途	
駅前通地下歩行空間ポスター広告	長期枠 3か月	一式	3,500,000	
新千歳空港国内線広告	バナー4枚・大型映像1日30秒×30本 2か月	一式	6,960,000	
新千歳空港国際線広告	バナー1枚 3か月	一式	2,110,000	
羽田空港広告	第1ターミナルバナー2枚80日、第1・2ターミナル映像1日30秒×3か月	一式	16,180,000	
成田空港広告	到着・出発各ターミナルバナー各9枚程度×3か月	一式	18,950,000	
②国内イベントプロモーション展開				
各イベントリーフレット広告原稿制作	1種共通A4判想定	一式	60,000	
各イベントPRキャラバン実施	年間延べ40日間程度	一式	12,000,000	
札幌ドーム開催告知広告掲出	ドームとの個別交渉		別途	
③海外PRプロモーション展開				
プレスキット運搬	未定		別途	発送先確定後
関係会議、関係スポーツ競技大会他の活動費	未定		別途	組織委員会経費
④広報・PRイベント及びプロモーション関係(メモリアル事業)				
100日前イベント	開催記念フォーラム(市民ホール等)	一式	8,000,000	
⑤応援活動関係				
小中学校応援事業	通信費等 未定		別途	
子ども絵画コンクール及び絵葉書制作	事務局、表彰式、賞品、告知ポスター・葉書制作	一式	4,100,000	
⑥都市の装飾・街頭プロモーション、広告物				
札幌市本庁舎、北海道庁、札幌ドーム等	歓迎モニュメント、競技紹介・PRコーナー	一式	2,400,000	
街頭バナー作成(駅前通・1,2,4番街)	制作費のみ(掲出料無料を前提)	一式	8,000,000	
街頭PR懸垂幕、横断幕作成	同上(20か所を実施段階に選定、掲出料無料を前提)	一式	3,000,000	
2019年度 広報経費 計			292,706,000	
2019年度 計			292,706,000	
消費税			23,416,480	
2019年度 合計			316,122,480	

(円)

(ア) 開催までに必要となる経費 合計	521,727,696
----------------------------	--------------------

(イ) 開催に係る運営経費

2019年度				
会場運営費				
項目	単価	数量	単位	金額
1.警備関係費				
設営期間警備費(7日間)	23,000,000	1	式	23,000,000
開催期間試合日警備費(1回目)	8,300,000	1	式	8,300,000
開催期間試合日警備費(2回目)	8,300,000	1	式	8,300,000
開催期間試合日警備費(3回目)	8,300,000	1	式	8,300,000
開催期間試合なし日警備費(2日間)	1,300,000	1	式	1,300,000
撤去期間警備費(2日間)	3,900,000	1	式	3,900,000
上記警備員食事費	2,400,000	1	式	2,400,000
2.警備備品費				
整理・誘導用機材	2,000,000	1	式	2,000,000
金属探知機ゲート	13,000,000	1	式	13,000,000
金属探知機ハンディ器具	800,000	1	式	800,000
金属探知機附帯設備費	2,200,000	1	式	2,200,000
金属探知機運搬費(東京からの搬送想定)	1,500,000	1	式	1,500,000
3.誘導案内関係費				
設営期間誘導・案内スタッフ費(7日間)	4,000,000	1	式	4,000,000
開催期間試合日誘導・案内スタッフ費(1回目)	6,800,000	1	式	6,800,000
開催期間試合日誘導・案内スタッフ費(2回目)	6,800,000	1	式	6,800,000
開催期間試合日誘導・案内スタッフ費(3回目)	6,800,000	1	式	6,800,000
開催期間試合無し日誘導・案内スタッフ費(2日間)	700,000	1	式	700,000
撤去期間誘導・案内スタッフ費(2日間)	360,000	1	式	360,000
上記誘導・案内スタッフ食事費	1,300,000	1	式	1,300,000
4.誘導案内備品費				
整理・誘導用機材	1,500,000	1	式	1,500,000
5.全体運営関係				
運営管理人件費(14日間)	10,000,000	1	式	10,000,000
運営管理ボランティアスタッフ費(14日間)	1,000	120	人	120,000
ADコントロール発行管理人件費(10日間)	1,900,000	1	式	1,900,000
ADコントロール発行ボランティアスタッフ費(10日間)	1,000	100	人	100,000
チケット販売人件費(10日間)	3,000,000	1	式	3,000,000
チケット販売ボランティアスタッフ費(10日間)	1,000	100	人	100,000
大会グッズ販売エリア管理人件費(14日間)会場内2ヶ所程度	3,200,000	1	式	3,200,000
大会グッズ販売ボランティアスタッフ費(14日間)	1,000	102	人	102,000
スポンサーヴァレージエリア管理人件費(設営日含め6日間)	1,600,000	1	式	1,600,000
スポンサーヴァレージエリア運営ボランティアスタッフ費(設営日含め6日間)	1,000	60	人	60,000
メディア対応管理人件費(6日間)	3,300,000	1	式	3,300,000
メディア対応管理ボランティアスタッフ費(6日間)	1,000	60	人	60,000
インフラ管理・メンテナンス管理人件費(6日間)	3,000,000	1	式	3,000,000
セレモニー運営・進行人件費(リハーサル含め6日間)	2,400,000	1	式	2,400,000
セレモニー運営・進行ボランティアスタッフ費(リハーサル含め6日間)	1,000	30	人	30,000
スポーツプレゼンテーション(大会演出)人件費	2,500,000	1	式	2,500,000
スポーツプレゼンテーション(大会演出)ボランティアスタッフ費	1,000	10	人	10,000
音響オペレーター人件費(設営含め7日間)	2,500,000	1	式	2,500,000
映像オペレーター人件費(設営含め7日間)	2,500,000	1	式	2,500,000
ホスピタリティサービス人件費(3日間)	2,250,000	1	式	2,250,000
救護スタッフ人件費(2日間)	525,000	1	式	525,000
交通費	1,600,000	1	式	1,600,000
弁当費	2,200,000	1	式	2,200,000

項目	単価	数量	単位	金額
6.会場清掃関係費				
設営期間会場清掃費(7日間)	5,000,000	1	式	5,000,000
開催期間試合日清掃費(1回目)	2,000,000	1	式	2,000,000
開催期間試合日清掃費(2回目)	2,000,000	1	式	2,000,000
開催期間試合日清掃費(3回目)	2,000,000	1	式	2,000,000
開催期間試合無し日清掃費(2日間)	1,000,000	1	式	1,000,000
撤去期間会場清掃費(2日間)	1,000,000	1	式	1,000,000
清掃物処理費	500,000	1	式	500,000
7.開催会場一般(有料)駐車場警備費				
開催期間試合日一般(有料)駐車場警備費		3	回	会場徴収対応
8.開催会場外周警備費				
開催期間試合日外周警備費	3,000,000	3	回	9,000,000
9.運営制作関係費				
基本計画作成				
実施計画作成				
運営事務局機材費	1,500,000	1	式	1,500,000
マニュアル制作費				
全体運営マニュアル、セレモニーマニュアル	5,000,000	1	式	5,000,000
大会演出マニュアル、VIPマニュアル				
メディア対応マニュアル				
上記印刷費	1,500,000	1	式	1,500,000
企画費(セレモニー・大会演出)	2,000,000	1	式	2,000,000
大会演出コンテンツ費	10,000,000	1	式	10,000,000
事前作業費(6ヶ月間想定)	500,000	6	ヶ月	3,000,000
打合せ諸経費(6ヶ月間想定)	500,000	6	ヶ月	3,000,000
作業経費(通信費、車両費、備品消耗品他)	2,000,000	1	式	2,000,000
メディアカンファレンス用同時通訳ブース(3日間 各100名想定)	4,500,000	1	式	4,500,000
計				201,317,000
消費税				16,105,360
会場運営費 計				217,422,360

2019年度				
会場外運営経費				
項目	内容・仕様	数量	単位	金額
交流イベント・ホスピタリティ事業				
特設ファンビレッジ パブリックビューイング 日本文化紹介、札幌コーナー	要検討	1	式	12,000,000
歓迎レセプションVIP交歓会、到着チーム歓迎イベント	要件等	1	式	12,000,000
計				24,000,000
消費税				1,920,000
会場外運営経費 計				25,920,000

(イ)開催に係る運営経費(会場運営費+会場外運営費) 合計				243,342,360
-------------------------------	--	--	--	-------------

(ウ) 周辺の仮設物等を含めた試合会場施設整備費

会場関係経費				
項目	単価	数量	単位	小計
1.会場費				
クローズドアリーナ利用料(設営日+開催期間試合無し日)	4,000,000	9	日	36,000,000
クローズドアリーナ利用料(本番日)	8,000,000	3	日	24,000,000
クローズドアリーナ利用料(撤去日)	4,000,000	2	日	8,000,000
大型映像装置利用料	350,000	3	日	1,050,000
アリーナ放送設備利用料	100,000	3	日	300,000
サブスコアボード利用料	30,000	3	日	90,000
館内CCTVシステム利用料	60,000	3	日	180,000
諸室利用料(設営日+開催期間試合無し日)	357,000	9	日	3,213,000
諸室利用料(本番日)	1,450,200	3	日	4,350,600
諸室利用料(撤去日)	357,000	2	日	714,000
会場備品費	1,500,000	1	式	1,500,000
駐車場利用料	1,407,500	14	日	19,705,000
				(以上内税分)
2.天然芝競技場造成費				
圃場管理	125,129,620	1	式	125,129,620
ラグビー場下地調整	15,914,300	1	式	15,914,300
ラグビー場張り芝	32,010,000	1	式	32,010,000
ラグビー場撤去	79,263,600	1	式	79,263,600
経費	63,082,480	1	式	63,082,480
				(以上外税分)
内税分 計				99,102,600
外税分 計				315,400,000
消費税				25,232,000
会場関係費 合計				439,734,600

(エ) 想定される札幌開催の大会規模(期間・観客数)

会 場 札幌ドームを想定

会場確保期間想定:14日間(準備・試合・撤収に要する期間を含む)

(詳細は「イ 試合会場調査 (ア) 試合会場における競技場のレイアウト等」参照)

試合数 3試合開催を想定

・第1試合(土曜)・第2試合(日曜)・第3試合(水曜)を想定する

期 間 ラグビーワールドカップ開催期間内(平成31年(2019年)9月~10月)で想定

・国際ラグビーボードの開催原則に基づくと、試合前10日間、試合5日間、試合後2日の
17日間は利用できる状態としなければならない

・国際ラグビーボード及び札幌ドームと調整の上、開催期間・期日を決定

観客数 約9万~10万人を想定

・現時点では、想定観客数席に基づき、3試合での観客数を想定

イ 試合開催会場調査

(ア) 試合会場における競技場のレイアウト等

・札幌ドームへのラグビー競技場の施設については下記A・B・Cのうちいずれかで想定する。

- A: サッカーモード 想定客席数:41,410席 (通常のサッカー試合開催時と同じ)
・通常はサッカー競技開催時に使用する「ホヴァリングステージ」上にラグビー競技場を設営する。
参照:「RWC2019札幌ドーム補足資料A3」 P1
- B: 札幌ドームの有効活用 想定客席数:41,410席 (通常のサッカー試合開催時と同じ)
・サッカー開催時の競技面に(「ホヴァリングステージ」使わず)直接ラグビー競技場を設営する。
・ラグビー競技場のうち、周辺区域の一部(4つ角部分)がスタンドと交わる形で配置する。
参照:「RWC2019札幌ドーム補足資料A3」 P2
- C: ラグビーモード 想定観客席数:37,437席
・「ホヴァリングステージ」搬出入経路も競技面として活用し、新たにラグビー競技場を設営する。
・「ホヴァリングステージ」搬出入経路上には観客席を配置しない。
参照:「RWC2019札幌ドーム補足資料A3」 P3~4

(イ) 試合会場の必要設備等

参照:「(1)大会内容調査 (ウ)周辺の仮設物等を含めた試合会場施設整備費」

1.会場装飾

会場屋外装飾(バナー、入口装飾、フラワー装飾等)
会場屋内装飾(国旗、バナー、フィールド内、エントランス装飾等)
サイン(誘導サイン、案内サイン、事前告知サイン等)

2.諸室関係

救護室、授乳室、チケットオフィス、警察司令室、消防司令室、セキュリティコントロール室
場内アナウンス室、チ・控え審判ベンチ、コーチボックス、チーム更衣室、用具室
ボールボーイ・ガール控室、審判更衣室、テレビ審判室、選手控室
ドーピングコントロール室
運営本部、セレモニー関係者控室、運転手控室
倉庫、ADセンター、スタッフ・ボランティア控室
テレビコンパウンド、テレビコメンタリーポジション、ラジオコメンタリーポジション
コメンタリーコントロール室、フラッシュインタビューポジション、ベニューメディアセンター
プレスカンファレンス室、フォトグラファー作業所
ミックスゾーン、個室・宴会場、プロトコールラウンジ、貴賓室、スポンサービレッジ
室内スタジオ

ウ 警備・安全対策

(ア) 警備計画、警備体制等の調査

- ・警備計画、警備体制については、(会場想定札幌ドーム側が準備するものではなく)開催内容決定以降に主催者が策定することとされている。
- ・開催日数、会場配置、観客数、関連施設配置、動線などが確定していない現状で可能な限りの警備計画、警備体制を策定した。

(イ) 防災対策等

参照:「札幌市地域防災計画」

- ・開催内容決定後、札幌市地域防災計画(札幌市防災会議、平成26年3月修正)「地震災害対策編」及び「風水害対策編」に準拠し、開催時まで策定する。

エ 輸送計画

(ア) 来場者等の輸送手段

一般観客の札幌ドームへの輸送手段は、地下鉄及びシャトルバスとなる。

1.地下鉄の輸送実績

- ・札幌ドーム最寄り地下鉄駅である東豊線・福住駅からの1便当たりの輸送人員は、最大1,000人程度とされる。
- ・札幌市交通局では札幌ドームでのコンサート開催時に臨時便7便の増便を行った実績があり、これが輸送力拡大の限界とされる。

2.シャトルバスの運行

- ・札幌ドームで収容規模80%の集客が想定される野球・サッカーの試合、イベント等が開催の際に、シャトルバス(有料)が運行されてきた。
- ・主催者は集客数を想定の上でシャトルバス運行について判断し、バス運行事業者とともに運行計画を行うものとされる。
- ・野球・サッカーの試合では、公共交通機関5駅(地下鉄平岸駅、地下鉄真駒内駅、新札幌バスターミナル、地下鉄南郷18丁目駅、JR白石駅)からシャトルバスが運行されている。
- ・野球・サッカーの試合、コンサート等では、往路便は開場30分前から試合開始または開演時まで随時運行。復路便では試合終了または終演から随時運行し、会場滞留数等に応じて運行終了を判断している。
- ・ラグビーワールドカップ開催時には、試合日に会場が満員となることを想定した上でシャトルバス運行計画を主催者側で作成することとなる。

(イ) 駐車場(試合開催会場及び周辺区域)

1.札幌ドーム敷地内

- ・一般駐車場収容可能台数: 1,391台
- ・野球・サッカー試合、イベントにおいては、このうち600~800台分を有料貸出(主催者及び関係者車両の駐車枠運用により調整)

2.札幌ドーム周辺

- ・現状把握するところでは、周辺19か所で1,600台程度の駐車が可能(営業については各駐車場の事業者判断となる)
参照:「RWC2019札幌ドーム補足資料A3」 P5

オ 大会準備調査

(ア) 開催地決定年以降のマーケティング活動等

- ・ 下記「ラグビーワールドカップ2019広報業務基本計画」を策定した。

【ラグビーワールドカップ2019広報業務基本計画】

1 目的

ラグビーワールドカップ2019(以下、「本大会」という。)において、世界、アジアのスポーツの先進地である札幌としての魅力と発言力を強化することと、札幌のイメージアップを図ることなどの長期的視点を念頭に、開催準備期・開催年度・開催直前期の各時期において、より効果的に大会の開催周知を図り、地元の開催気運を醸成するとともに、競技への興味と関心を喚起し市民参加の促進とチケット販売による大会収益の確保を目的とすることとする。

また、海外関係者へのホスピタリティでもある歓迎レセプション、日本の文化紹介のための関連イベントも広報業務として計画する。

2 広報/報道活動スケジュール

※開催都市の決定が2015年3月を前提として

- (1) フェーズ1 - 開催周知期 (2016年度)
 - ア 大会シンボルの決定
 - イ 基礎情報の発信
 - ウ メディアとの連携構築

- (2) フェーズ2 - 注目度向上期 (2017年度)
 - ア 大会イメージの定着
 - イ 基本情報発信の強化
 - ウ メディアとの連携強化

- (3) フェーズ3 - 気運醸成期 (2018年度)
 - ア 大会ムードの高揚
 - イ 情報発信の最適化
 - ウ メディアとの連携恒常化

- (4) フェーズ4 - 開催年度広報目標達成期 (2019年度)
 - ア 大会ムードの高揚、都市の装飾、市民参加促進
 - イ 情報発信の最大化
 - ウ メディアとの連携最大化

3 広報/報道活動内容(フェーズ1 - 開催周知期 2016年度)

- (1) 大会シンボルの決定
 - ア 大会シンボル(ロゴ)マーク及びデザインガイドマニュアル制作
 - イ 大会スローガンの制作
 - ウ 公式ポスター(2016年度版)の制作
 - エ マスコットキャラクター及び愛称募集(一般公募)
 - オ 商標登録申請

- (2) 基礎情報の発信
 - ア 公式ホームページの開設(日本語、英語)

- (3) 札幌大会啓蒙用配布公式 PR ツール、PR グッズの制作
 - ア 大会及び札幌市PRパンフレット(A4 サイズ 20P 程度、日本語、英語)
 - イ 大会 PR 用チラシ(A3 二つ折りサイズ 4P 程度、日本語)
 - ウ 札幌市 PR 及び札幌大会 PR 用ビデオ映像制作(日本語、英語)
 - エ 記念品制作(ロゴ、マスコットキャラクターピンバッジ、ステッカー等)

- (4) 国内イベントにおけるプロモーション展開
 - ア ライラックまつり(リーフレット広告)
 - イ 夏まつり(リーフレット広告)
 - ウ オータムフェスト(リーフレット広告)
 - エ ミュンヘンクリスマス市(リーフレット広告)
 - オ 雪まつり(リーフレット広告)
 - カ 札幌ドーム開催告知広告

- (5) 海外 PR プロモーション展開
 - ア 関係会議、関係スポーツ競技大会(プレスキット、記者会見、展示PR)

- (6) 札幌市との連携
 - ア 公用封筒、名刺等への広告掲載
 - イ 広報番組[テレビ、ラジオ]を使ったPR
 - ウ 札幌市広報媒体の活用

- (7) 札幌圏メディアとの連携構築
 - ア 市政記者クラブ(記者レクチャー、広報メモ投げ込み等)
 - イ 北海道スポーツ記者クラブ(広報メモ投げ込み等)

4 広報/報道活動内容(フェーズ2 - 注目度向上期 2017年度)

(1) 大会イメージの定着

- ア マスコットキャラクター着ぐるみ制作
- イ 公式PR啓蒙配布品の開発(公式PR用グッズの制作)
 - ・ マスコットぬいぐるみ(他マスコットキーホルダー、マスコットピンバッジ等)
 - ・ エコバッグ、ビニールバック、クリアファイル、ボールペン、メモ帳、カレンダー、ハンカチ、タオル、ポケットティッシュ、等
- ウ 公式新デザインポスター(2017年度版)の制作

(2) 基本情報発信の強化

- ア 街頭啓発の実施(大会2年前/JR札幌駅南口、札幌ドームなど)
- イ カウントダウンモニュメントの設置
- ウ 除幕式及びカウントダウンボード点灯式
- エ 大会及び札幌市PRパンフレット増刷(A4サイズ20P程度、日本語、英語)
- オ 大会PR用チラシ増刷(A3二つ折りサイズ4P程度、日本語)
- カ ホームページのレベルアップ(大会情報、プレスリリース、他)
- キ 新聞広告(アスリート取材や対談等の記事広告主体)等

(3) 国内イベントプロモーション展開

- ア ライラックまつり(リーフレット広告)
- イ 夏まつり(リーフレット広告)
- ウ オータムフェスト(リーフレット広告)
- エ ミュンヘンクリスマス市(リーフレット広告)
- オ 雪まつり(リーフレット広告)
- カ 札幌ドーム開催告知広告

(4) 海外PRプロモーション展開

- ア 関係会議、関係スポーツ競技大会(プレスキット、記者会見、展示PR)

(5) 札幌市との連携

- ア 札幌市広報媒体の活用
- イ 広報番組[テレビ、ラジオ]を使ったPR
- ウ 関係施設へのポスター掲出
- エ 市本庁舎1階ロビーへのPRコーナー設置

(6) 札幌圏メディアとの連携構築

- ア 市政記者クラブ(記者レクチャー、広報メモ投げ込み等)
- イ 北海道スポーツ記者クラブ(広報メモ投げ込み等)

(7) 会場となる札幌ドームにおける開催告知掲出

5 広報/報道活動内容(フェーズ3 - 気運醸成期 2018年度)

(1) 大会ムードの高揚

- ア 公式グッズ、ノベルティ制作、販売における委託業者選定基準策定
- イ 公式グッズショップ開設
- ウ 公式新デザインポスター(2018年度版)の制作
- エ 大会応援ソング(イメージソング)の制作

(2) 情報発信の最適化

- ア ホームページのレベルアップ
 - ・ プレ大会レポートや競技の紹介
 - ・ トピックスの充実、ニュースレター等
 - ・ ソーシャルメディア(ツイッター、SNS等)の活用
- イ 大会及び札幌市PRパンフレット増刷(A4 サイズ 20P 程度、日本語、英語)
- ウ 大会 PR 用チラシ増刷(A3 二つ折りサイズ 4P 程度、日本語)
- エ 新聞広告(アスリート取材や対談等の記事広告主体)等

(3) 国内イベントプロモーション展開

- ア ライラックまつり(サイン広告、リーフレット広告)
- イ 夏まつり(サイン広告、リーフレット広告)
- ウ オータムフェスト(サイン広告、リーフレット広告)
- エ ミュンヘンクリスマス市(サイン広告、リーフレット広告、ステージ)
- オ 雪まつり(雪像制作、ステージ及びブース展開、リーフレット広告)
- カ 各区民まつり(PR キャラバン)
- キ 各種フェスティバル(PR キャラバン)
- ク 各種スポーツイベント(PR キャラバン)
- ケ 札幌ドーム開催告知広告

(4) メモリアル事業について

- ア 札幌開催記念メモリアルコンサート等(1年前イベント想定)

(5) 海外PRプロモーション展開

- ア 関係会議、関係スポーツ競技大会(プレスキット、記者会見、展示PR)

(6) 札幌市との連携

- ア 札幌市広報媒体の活用
- イ 広報番組[テレビ、ラジオ]を使ったPR(再掲)
- ウ 関係施設へのポスター掲出
- エ 市本庁舎1階ロビーへのPRコーナー設置

- (7) メディアとの連携恒常化
 - ア 札幌圏メディアとの連携
 - ・ 市政記者クラブ(記者レクチャー、広報メモ投げ込み等)
 - ・ 北海道スポーツ記者クラブ(広報メモ投げ込み等)
 - イ 首都圏メディアとの連携
 - ・ プレスキーパソンとの連携
 - ウ 海外メディアとの連携
 - ・ 関係会議、関係スポーツ競技大会(記者会見、プレスキット)

- (8) 会場となる札幌ドームにおける開催告知掲出

6 広報/報道活動内容(フェーズ 4- 開催年度 広報目標達成期 2019年度)

- (1) 大会ムードの高揚、都市の装飾、市民参加促進
 - ア 街頭PRバナー(横断幕、懸垂幕、フラッグ等)の設置
 - イ 主要空港広告物掲出(歓迎バナー、大型ビジョン等)
 - ※ボーディングブリッジ等の活用も検討(施設との交渉)
 - ウ 札幌駅前通地下歩行空間におけるバナー掲出
 - エ 札幌開催歓迎モニュメント設置(市本庁舎、道庁、札幌ドーム等)
 - オ インフォメーションセンター設置(※7詳細へ)
 - カ ラグビーこども絵画コンクール開催
 - キ こども絵画コンクール入賞作品による絵ハガキ制作と配布
- (2) 情報発信の最大化
 - ア 公式観戦ガイドブック(ポケットブック版:レストランガイド、アクセスマップ等)の発行
 - イ ホームページ内容の充実(トピックスの充実、ニュースレター、デイリーレポート等)
 - ウ ラグビーワールドカップ2019及び競技紹介パネルの制作(各プロモーション会場用)
 - エ ラグビーワールドカップ2019編集特集の掲載
 - オ スポットCM制作及び放映(テレビ、ラジオ等)
 - カ 新聞等の広告出稿、特集記事掲載
 - キ 交通広告制作及び掲出(札幌市営地下鉄、JR北海道、空港等)
 - ク 大会PR番組制作、放映
 - ケ 街頭PR放送
 - コ パブリシティ展開(有償、無償)
- (3) 各種イベント、プロモーション活動について
 - ア 大会PRキャラバン(北海道内、首都圏)

- (4) 国内イベントプロモーション展開
 - ア ライラックまつり(サイン広告、リーフレット広告)
 - イ 夏まつり(サイン広告、リーフレット広告)
 - ウ オータムフェスト(サイン広告、リーフレット広告)
 - エ 各区民まつり(PR キャラバン)
 - オ 各種フェスティバル(PR キャラバン)
 - カ 各種スポーツイベント(PR キャラバン)
 - キ 札幌ドーム開催告知広告

- (5) メモリアル事業について
 - ア 開催記念フォーラム、シンポジウム(100日前イベント想定)

- (6) 交流イベント事業・ホスピタリティ事業について
 - ア 特設ファンビレッジ
(パブリックビューイング実施想定)
 - イ 地域各地で開催されるイベント連携、参加

- (7) その他関連イベントの実施
 - ア 記者会見、歓迎レセプション開催、VIP 向けの公式交換会(ファンクション)、到着チーム歓迎イベントの開催
 - イ 日本文化紹介及び札幌・北海道PRコーナー等の設置(ファンビレッジ内展開想定)
日本または北海道、札幌市の文化・伝統工芸等の体験ができるコーナーを選手団ホテルに設置し、日本文化・北海道、札幌市の文化を通じて道民・市民と選手との交流を行い、選手を身近に感じてもらうことにより、大会実施期間中における大会への関心・理解をより一層高めてもらうことを目的としたプログラムを展開する。

- (8) 応援活動等について
 - ア 小中学校 PR ツール配布
 - イ 小学校出場国応援活動等(一校一国交流事業)
競技開催市の各小学校において、一校単位に 1 つの交流相手国を決め、その国の生活・歴史・文化を学び、選手との交流を行うなどの活動を通じて、子どもたちの国際理解を進めていくための国際交流プログラムを展開する。

- (9) 札幌市との連携
 - ア 広報誌への記事掲載
 - イ 広報番組[テレビ、ラジオ]を使ったPR
 - ウ 関係施設へのポスター掲出
 - エ 市本庁舎 1 階ロビーへのPRコーナー設置

- (10) 連携・協賛事業について
 - ア 公式スポンサーとの協賛事業
 - イ 商店街、町内会における連携事業(アンブッシュ活動の制限、監視含む)

- (11) 公式報告書、公式記録DVD
 - ア 公式報告書 3,000 部
 - イ 公式記録DVD3,000 本 想定

- (12) メディアとの連携最大化
 - ア メディアガイドの作成
 - イ 国内放映権を持つテレビ局との連携
 - ウ 札幌圏メディアとの連携
 - ・ 市政記者クラブ(記者レクチャー、広報メモ投げ込み等)
 - ・ 北海道スポーツ記者クラブ(広報メモ投げ込み等)
 - エ 首都圏メディアとの連携
 - ・ プレスキーパソンとの連携
 - オ 海外メディアとの連携
 - ・ 関係会議、関係スポーツ競技大会(記者会見、プレスキット)

7 インフォメーションセンター(総合案内所)の設置

大会関係者(選手・役員・報道関係者等)や一般観客(観光客含む)のニーズに応えるため、インフォメーションセンター(総合案内所)を設置する。

(1) 業務内容

同センターで提供する情報は、下記の業務内容のとおりとする。

- ア 競技に関する情報
- イ 大会に関する情報
- ウ 輸送・交通に関する情報
- エ 観光に関する情報
- オ 大会の啓発及びPR
- カ その他の情報

(2) 設置場所

設置場所については、来札する大会関係者等の多数に対し、情報伝達が出来る場所を慎重に選定する。

- ア 各競技場へのアクセスの起点となる「地下鉄大通コンコース」に「メインインフォメーションセンター」を設置する。
- イ 札幌の玄関口である「JR札幌駅構内」
- ウ 競技場最寄りの地下鉄駅
- エ 東京国際空港(羽田空港)及び新東京国際空港(成田空港)、新千歳空港
※ただし、各空港には現行の案内所等があるため、設置者に協力を依頼し組織委員会案内所を兼ねる方法や羽田、成田の両空港は、札幌市東京事務所の外国語ボランティアを活用し、現地案内所を設置する方法も検討する。

(3) 設置期間

設置期間等については、選手団用宿泊施設が第一試合の7日前から最終試合の2日後、メディアセンターが第一試合の5日前から最終試合の2日後までの運用(何れも想定)等を考慮し、下記のとおり設置する。

- ア 基本的には、2019年9月内での15日間とする。
ただし、上記期間のフルオープンがメインインフォメーションセンターのみとし、その他インフォメーションセンターについては、実態に即した運用とする。
- イ 開設時間については、午前9時～午後10時(13時間)とする。
ただし、競技日程等に合わせ随時時間短縮等行うこととする。

(4) インフォメーションセンターの設備等

- ア 来客者に適切な案内が出来るよう必要な設備等を整える。

(5) 従事者

組織委員会広報係職員及び札幌市支援職員(各インフォメーションセンターリーダー)、ボランティア(外国語ボランティア含む)で構成する。

- ア 各インフォメーションセンターの従事者構成は、リーダー、一般ボランティア、外国語ボランティアとする。

8 予算

※別紙のとおり。

カ クリーンゾーン調査

- (ア) 試合会場における500メートルゾーンに含まれる商業施設、広告看板の調査
参照:「RWC2019札幌ドーム補足資料A3」 P6

(2) 經濟効果

ア 大会開催における経済効果

< 要 旨 >

ラグビーワールドカップ札幌市開催に伴う経済波及効果は 札幌市内で 51 億円、道内で 123 億円、全国で 192 億円

- ・ラグビーワールドカップ 2019（以下、ワールドカップ）札幌市開催に伴う経済波及効果(生産誘発額合計)を推計した。その効果は、札幌市で 51 億 1,600 万円、道内(札幌市を含む)で 122 億 8,500 万円、全国で 192 億 2,300 万円。
- ・また、ワールドカップ札幌市開催に伴い観光消費などが増加することにより、サービス業を中心に雇用が創出される。その人数は札幌市内で 521 人、道内で 1,110 人、全国で 1,571 人。
- ・経済波及効果を推計するにあたっての基礎となる需要増加額（以下、最終需要）は、札幌市内で 51 億 2,500 万円(大会運営費 9 億 9,600 万円、大会参加者の消費支出額 41 億 2,900 万円)。最終需要による直接効果は 33 億 4,900 万円。札幌市の経済波及効果は、直接効果に対して 1.53 倍となる。

1. 経済波及効果計算の方法

(1) 推計対象期間

経済波及効果の推計対象期間は、ワールドカップの札幌開催が確定し、札幌市でのワールドカップ試合（3試合を予定）が終了するまでとする。

(2) 推計対象地域

この調査で行う経済波及効果の推計は、札幌市、道内及び全国を対象とする。今回の調査で使用する産業連関表は、札幌市の経済波及効果については「平成 17 年札幌市産業連関表」を使用。道内及び全国については経済産業省の「平成 17 年地域間産業連関表(9 地域)」を“道内”と“道外”の 2 地域に組み直した上で経済波及効果を推計した。このため、“札幌市”と“道内及び全国”は単純比較できないことに留意が必要である。

(3) 推計・分析対象の範囲

経済波及効果の分析対象を、①大会運営費、②大会参加者（観客、メディア関係者）の消費支出額、の 2 つとした。

2. 前提条件

(1) 大会運営費

大会運営費（天然芝競技場造成費を含む）は、12億600万円。うち、道外分は2億1,000万円を計上した（図表1）。

図表1 大会運営費の内訳

(百万円)

費用の内容	合計			
	全国	道内		札幌市
		道外	道内	
計画策定・PR費用	522	189	333	333
会場運営費用(警備費用等)	243	21	222	222
会場関係経費	440	0	440	440
会場費	100	0	100	100
競技場造成費(芝生整備等)	341	0	341	341
合計	1,206	210	996	996

(注) 道内には札幌市を含む。

(2) 大会参加者の消費支出額

大会参加者については、①観客、②メディア関係者の2区分とし、それぞれ消費支出額を推計した。

① 大会参加者の人数

大会参加者のうち、観客数については、札幌ドームの想定座席数37,437席に基づき、収容率を80%と想定し、3試合合計で9万人とした。

観客の地域別内訳については、北海道未来総合研究所が「2002年ワールドカップ開催による道内経済への波及効果について」において、国土交通省による観客輸送需要予測を基に想定したワールドカップ日韓大会グループリーグ3試合(札幌)の構成比を用いて推計した(図表2)。

一方、メディア関係者については、「ラグビーワールドカップ2019開催都市ガイドライン」を参考にして、3試合合計で1,290人とした(注)。

なお、メディア関係者の地域別割合は当社資料を基に、海外93%、国内7%と推計した。

(注) 参加国は強豪国から順に3グループに分かれており、ガイドラインではグループ別にメディア(記者、フォトグラファー)の目安を提示している。本推計では、この3グループの平均人数を基にテレビ技術スタッフ等を含めたメディア関係者の人数を推計した。

図表2 観客の地域別内訳

(人)

	観客数
道内客	39,447
札幌市	25,565
札幌市以外	13,882
道外客	27,289
海外客	23,264
合計	90,000

(出所) (一社)北海道未来総合研究所(2002)「2002年ワールドカップ開催による道内経済への波及効果について」

② 消費支出額

大会参加者の消費支出額については、札幌市と北海道の「観光産業経済効果調査報告書」や観光庁等の各種資料を参考に、札幌市、道内での平均宿泊数(図表 3)、道外一道内の交通費(道外客、海外客)、国外一日本の交通費(海外客)などを調整し、一人当たりの消費額単価を推計した。

この結果、大会参加者の消費支出額の合計は札幌市内で41億2,900万円(道内：64億4,600万円、全国：83億1,500万円)となった。

図表 3 大会参加者の宿泊日数

	合計 (泊)		
		札幌市	札幌市を除く道内
道内客	1.8	1.8	0
道外客	2.5	2	0.5
海外客	5	3	2

(注1) 道内客は日帰り客を除く。

(注2) 観客、メディア関係者とも宿泊日数は同一とした。

(出所) 札幌市、北海道「観光産業経済効果調査報告書」

図表 4 大会参加者(観客者・メディア関係者)による消費額

～札幌市内における消費額～

(百万円)

	道内客(A)			道外客(B)	海外客(C)
		札幌市	札幌市以外		
交通費	87	67	20	179	269
宿泊費	26	9	16	311	575
飲食費	42	9	33	239	499
土産・買い物代	128	48	80	257	1,269
入場料・施設利用料	13	5	8	45	52
その他の支出	6	4	2	47	88
合計	302	143	159	1,076	2,751
消費額合計(A+B+C)					
4,129					

～道内における消費額^(注1)～

(百万円)

道内客(A')	道外客(B')	海外客(C')
108	692	992
37	409	816
35	297	648
96	356	1,600
15	58	88
22	58	120
313	1,870	4,263
消費額合計(A'+B'+C')		
6,446		

(注1) 道内における消費額は札幌市内分も含む。

(注2) 全国の経済波及効果を分析する際には、上記以外に道外における支出分(道外客～交通費、海外客～交通費、宿泊代、飲食費)を計上した。

(出所) 観光庁「訪日外国人消費動向調査」、北海道「第5回 観光産業効果調査報告書」、札幌市「第4回 観光産業調査報告書」

3. ラグビーワールドカップ開催に伴う経済波及効果

ラグビーワールドカップの開催に伴い、札幌市、道内(札幌市を含む)、全国にどの程度の経済波及効果¹をもたらすかを、推計した。

(ア) 札幌市の経済波及効果

まず、札幌市では直接効果²が 33 億 4,900 万円。最終的にはこの直接効果の 1.53 倍に当たる 51 億 1,600 万円の経済波及効果(生産誘発額合計)が生まれる。一方、粗付加価値誘発額は 30 億 2,300 万円、うち雇用者所得誘発額は 15 億 700 万円となる。

産業活動部門別に生産誘発額をみると、第二次産業：7 億 4,100 万円(構成比 14.5%)、第三次産業：43 億 6,000 万円(同 85.2%)となり、サービス業：26 億 600 万円が半数を占めている。

また、粗付加価値誘発額は、第二次産業：3 億 300 万円(同 10.0%)、第三次産業：27 億 1,100 万円(同 89.7%)。雇用者所得誘発額は、第二次産業：1 億 9,000 万円(同 12.6%)、第三次産業：13 億 1,500 万円(同 87.3%)。

新たに創出される雇用の人数(以下、雇用誘発数)は 521 人³。サービス業(339 人)が 65%を占めている。

(イ) 北海道経済波及効果

一方、道内では、直接効果が 68 億 9,300 万円となり、この 1.78 倍に当たる 122 億 8,500 万円の生産が誘発される。産業部門別の生産誘発額は、サービス業：42 億 4,300 万円(同 34.5%)、運輸：19 億 4,800 万円(同 15.9%)、鉱工業：17 億 300 万円(同 13.9%)。粗付加価値誘発額は 69 億 6,300 万円、うち雇用者所得誘発額は 35 億 300 万円。雇用誘発数(1,110 人)を産業活動部門別でみると、第二次産業で 98 人(同 8.8%)、第三次産業で 983 人(同 88.6%)。サービス業(549 人)、運輸(195 人)、商業(154 人)の 3 つの産業で大半を占めている。

(ウ) 日本全体の経済波及効果

道内と道外を合計した全国では、直接効果が 88 億 1,400 万円。この 2.18 倍に当たる 192 億 2,300 万円の生産が誘発される。粗付加価値誘発額は 106 億 9,100 万円、うち雇用者所得誘発額は 53 億 2,800 万円となり、雇用誘発数は 1,571 人となった。

¹経済波及効果とはある産業部門で最終需要が発生したとき、産業間の取引を通じて他の産業にも次々生産を誘発していくことであり、一般に生産誘発額合計を指す。経済波及効果を推計する際には、札幌市については「平成 17 年札幌市産業連関表」を使用。道内及び全国については経済産業省の「平成 17 年地域間産業連関表(9 地域)」を“道内”と“道外”の 2 地域に組み直して使用した。そのため、“札幌市”と“道内及び全国”は単純比較できないことに留意が必要である。

²直接効果とはワールドカップの開催に伴って発生する最終需要によって、域内(札幌市、道内、道外)で生産が誘発される額のこと。ワールドカップ開催に直接必要な財やサービスが含まれる。

³雇用の創出人数は、産業活動部門別の一人当たり雇用者所得が変わらないことを前提として算出。なお、現実には残業や効率化によって対応される場合があることに注意を要す。

図表 5 ワールドカップ札幌市開催に伴う地域別経済効果

		(百万円)				(人)	
		直接効果	一次波及効果	二次波及効果	総合効果(合計)	雇用誘発数	
生産誘発額	全国	8,814	5,836	4,574	19,223	全国	1,571
	道外	1,920	3,091	1,927	6,938		
	道内	6,893	2,746	2,646	12,285		
	札幌市	3,349	974	793	5,116	道外	461
粗付加価値誘発額	全国	5,002	3,032	2,657	10,691	道内	1,110
	道外	1,127	1,529	1,073	3,728	札幌市	521
	道内	3,874	1,503	1,585	6,963		
雇用者所得誘発額	札幌市	1,916	583	524	3,023		
	全国	2,797	1,369	1,163	5,328		
	道外	628	724	474	1,825		
	道内	2,168	646	689	3,503		
	札幌市	1,038	270	198	1,507		

- (注1) 経済波及効果を推計する際には、札幌市については「平成 17 年札幌市産業連関表」を使用。道内及び全国については経済産業省の「平成 17 年地域間産業連関表 (9 地域)」を“道内”と“道外”の 2 地域に組み直して使用した。そのため、“札幌市”と“道内及び全国”は単純比較できないことに留意が必要である。
- (注2) 一次波及効果とは直接効果によって新たに必要となる原材料等の需要に対するために域内で誘発される生産額。
- (注3) 二次波及効果は直接効果と一次波及効果による雇用者所得増加を通じて消費需要が増加したことにより域内で誘発される生産額。
- (注4) 道内には札幌市を含む。

図表 6 ワールドカップ札幌市開催による地域別・産業活動部門別経済効果

		生産誘発額		粗付加価値誘発額		雇用者所得誘発額		雇用誘発数		
		百万円	構成比	百万円	構成比	百万円	構成比	人	構成比	
道内	第一次産業	729	5.9%	394	5.7%	72	2.1%	29	2.6%	
	第二次産業	2,114	17.2%	724	10.4%	357	10.2%	98	8.8%	
		鉱工業	1,703	13.9%	536	7.7%	212	6.1%	65	5.9%
		建設業	411	3.3%	188	2.7%	145	4.1%	33	3.0%
	第三次産業	9,442	76.9%	5,845	83.9%	3,074	87.8%	983	88.6%	
		商業	1,261	10.3%	865	12.4%	523	14.9%	154	13.9%
		金融・保険・不動産業	973	7.9%	760	10.9%	126	3.6%	22	2.0%
		情報通信	295	2.4%	188	2.7%	76	2.2%	14	1.3%
		運輸	1,948	15.9%	1,179	16.9%	799	22.8%	195	17.6%
		サービス業	4,243	34.5%	2,499	35.9%	1,313	37.5%	549	49.5%
		その他	722	5.9%	354	5.1%	237	6.8%	49	4.4%
	総計	12,285	100.0%	6,963	100.0%	3,503	100.0%	1,110	100.0%	
道外	第一次産業	155	2.2%	81	2.2%	16	0.9%	6	1.3%	
	第二次産業	1,807	26.0%	584	15.7%	266	14.6%	55	11.9%	
		鉱工業	1,736	25.0%	551	14.8%	241	13.2%	50	10.8%
		建設業	71	1.0%	33	0.9%	25	1.4%	5	1.1%
	第三次産業	4,976	71.7%	3,063	82.2%	1,543	84.5%	400	86.8%	
		商業	598	8.6%	410	11.0%	236	12.9%	61	13.2%
		金融・保険・不動産業	594	8.6%	458	12.3%	76	4.2%	19	4.1%
		情報通信	352	5.1%	207	5.6%	95	5.2%	15	3.3%
		運輸	1,399	20.2%	832	22.3%	502	27.5%	109	23.6%
		サービス業	1,616	23.3%	945	25.3%	490	26.8%	177	38.4%
		その他	417	6.0%	211	5.7%	144	7.9%	19	4.1%
	総計	6,938	100.0%	3,728	100.0%	1,825	100.0%	461	100.0%	
全国	第一次産業	884	4.6%	475	4.4%	88	1.7%	35	2.2%	
	第二次産業	3,921	20.4%	1,308	12.2%	623	11.7%	153	9.7%	
		鉱工業	3,439	17.9%	1,087	10.2%	453	8.5%	115	7.3%
		建設業	482	2.5%	221	2.1%	170	3.2%	38	2.4%
	第三次産業	14,418	75.0%	8,908	83.3%	4,617	86.7%	1,383	88.0%	
		商業	1,859	9.7%	1,275	11.9%	759	14.2%	215	13.7%
		金融・保険・不動産業	1,567	8.2%	1,218	11.4%	202	3.8%	41	2.6%
		情報通信	647	3.4%	395	3.7%	171	3.2%	29	1.8%
		運輸	3,347	17.4%	2,011	18.8%	1,301	24.4%	304	19.4%
		サービス業	5,859	30.5%	3,444	32.2%	1,803	33.8%	726	46.2%
		その他	1,139	5.9%	565	5.3%	381	7.2%	68	4.3%
	総計	19,223	100.0%	10,691	100.0%	5,328	100.0%	1,571	100.0%	
札幌市	第一次産業	15	0.3%	9	0.3%	2	0.1%	1	0.2%	
	第二次産業	741	14.5%	303	10.0%	190	12.6%	48	9.2%	
		鉱工業	374	7.3%	136	4.5%	61	4.0%	18	3.5%
		建設業	367	7.2%	167	5.5%	129	8.6%	30	5.8%
	第三次産業	4,360	85.2%	2,711	89.7%	1,315	87.3%	472	90.6%	
		商業	457	8.9%	316	10.5%	177	11.7%	56	10.7%
		金融・保険・不動産業	474	9.3%	354	11.7%	61	4.0%	12	2.3%
		情報通信	178	3.5%	109	3.6%	48	3.2%	8	1.5%
		運輸	390	7.6%	263	8.7%	170	11.3%	39	7.5%
		サービス業	2,606	50.9%	1,527	50.5%	775	51.4%	339	65.1%
		その他	255	5.0%	142	4.7%	84	5.6%	18	3.5%
	総計	5,116	100.0%	3,023	100.0%	1,507	100.0%	521	100.0%	

参考

観客一人当たりの平均消費額について

- 道外客及び海外客の道外―道内の交通費（航空運賃、往復）は、国土交通省の資料「航空輸送統計」の輸送人員キロ当たり旅客収入をもとに、3万円と想定した。
- 外国人の観光客・メディア関係者については、過去の大会や2015年ロンドン大会の競技日程を参考にして、道内滞在日数を6日間（札幌3泊、札幌以外の道内2泊）とした。
国外―日本の交通費については、観光庁・財務省等の資料から、航空輸送旅客分の受取・支払割合で推計した。
- 外国メディア関係者の宿泊代は、過去の国際スポーツイベントなどを参考として、1泊2万円とした。
- なお、日本でのワールドカップ開催予定期間は45日間、参加チームは20チーム（日本を含む）を見込んでいる。参加チームは予選だけでも全国4か所で試合を行う。ただし、今回推計対象の「外国人観光客の道外での消費支出」は、道内―道外―国外の移動に伴う交通費、宿泊費（2泊分）・飲食代に限定した。

参考資料

- ・観光庁（2014）「訪日外国人消費動向調査」
- ・経済産業省（2011）「平成17年地域間産業連関表」
- ・国土交通省（2010）「平成17年建設部門分析用産業連関表」
- ・国土交通省「航空輸送統計」
- ・財務省「国際収支統計」
- ・札幌市（2013）「札幌市の観光」
- ・札幌市（2011）「第4回札幌市観光産業経済効果調査報告書」
- ・札幌市（2011）「平成17年札幌市産業連関表」
- ・札幌市（2013）「来札観光客満足度調査・外国人個人観光客動態調査」
- ・電通「東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催による経済効果などの算定に関する調査報告書」（2009.2）
- ・日本銀行「国際収支統計」
- ・（株）浜銀総合研究所（2000）「2002年ワールドカップ開催による横浜経済への影響について（再試算）」（2000.8.6）
- ・北海道（2011）「第5回北海道観光産業経済効果調査報告書」
- ・（一社）北海道未来総合研究所（2012）「2002年ワールドカップ開催による道内経済への波及効果について」（2002.2.18）
- ・（公財）ラグビーワールドカップ2019組織委員会「ラグビーワールドカップ2019開催都市ガイドライン～開催都市の要件とスタジアム諸室の概要」（2013.10.31）

(3) 過去大会調査

【ラグビーワールドカップ(RWC)過去大会概要】

■開催期間と参加国数

	《開催期間》	《参加国数》
2003 オーストラリア	2003/10/10～11/22	20ヶ国(予選出場 80 か国)
2007 フランス	2007/9/7～10/20	20ヶ国(予選出場 91ヶ国)
2011 ニュージーランド	2011/9/9～10/23	20ヶ国(予選出場 91ヶ国)

※「ラグビーワールドカップが開催国に与える経済効果」(デロイト(Deloitte.)社,2008.9)
より引用

ア 過去大会の運営費用等の調査

■RWC スタジアム/施設建設費推定額『多額な建設費が不要』

2003 オーストラリア	3,000 万ポンド	56 億 7,000 万円	(1 ポンド=189 円換算)
2007 フランス	3,000 万ポンド	70 億 8,000 万円	(1 ポンド=236 円換算)
2011 ニュージーランド	10,000 万ポンド	127 億円	(1 ポンド=127 円換算)
(FIFA ワールドカップ 2002	270,000 万ポンド)	5,076 億円	(1 ポンド=188 円換算)
(FIFA ワールドカップ 2006	95,000 万ポンド)	2,033 億円	(1 ポンド=214 円換算)
(FIFA ワールドカップ 2010	80,000 万ポンド)	1,024 億円	(1 ポンド=128 円換算)

※各大会とも、運営費に関する資料の公表はなし

イ 経済効果、観客数、観光客数等

■RWC 観客動員数と 1 試合あたりの平均観客動員数

	《観客動員数》	《1 試合あたりの平均観客動員数》
2003 オーストラリア	1,890 千人	39,400 人
2007 フランス	2,250 千人	46,500 人
2011 ニュージーランド	1,500 千人	30,600 人 (予測値)

■RWC における海外からのビジター『海外からの大勢のビジター』

2003 年オーストラリアでは推定 6 万人、その約半数はヨーロッパからの渡航者である。一方、ヨーロッパの大会では移動距離が短いため、ヨーロッパのビジターは目的の試合に合わせて滞在期間の比較的短い旅行を多くする傾向にある。RWC2007 では大会のためにフランスを訪れたビジターは 35 万人にのぼり、その 75%は他のヨーロッパ諸国からの渡航者であった。

RWC のビジターの居住国と平均滞在期間 (日数)

居住国	RWC 2003		RWC 2007		RWC 2011	
	ビジター数	平均滞在日数	ビジター数	平均滞在日数	ビジター数	平均滞在日数
ヨーロッパ	28,200	36	262,500	3	28,200	24
オーストラリア	18,600	15	49,000	24	18,600	11
アフリカ	10,200	24	24,500	22	10,200	22
その他	3,000	22	14,000	20	3,000	20
合計	60,000	27	350,000	8	60,000	20
訪問者/日	1,605,000		2,782,500		1,310,100	

■RWC テレビ放送する国の数と延べテレビ視聴者数『テレビ放送が開催国の宣伝に』

	《国の数》	《延べテレビ視聴者数》
2003 オーストラリア	194 カ国	34 億人
2007 フランス	238 カ国	40 億人
2011 ニュージーランド	207 カ国	39 億人

(※2011 数値は「国際的スポーツイベント誘致による地域社会への波及効果についての提言 WRC2019 組織委員会,2013.5 より)

■ラグビーワールドカップの経済効果

過去の RWC については経済効果に関する調査が個別に実施されている。ただし、調査の手法や前提条件はそれぞれ異なっている。したがって全体的な経済効果を同一条件の元で比較するというような正確な遡及評価を行うことはできない。

○RWC2003 (オーストラリア)

- ・海外動員総数は 190 万人、平均観客数は約 4 万人、収容率は 89%
- ・海外からオーストラリアへのビジターは 65,000 人 (メディア要員および VIP ビジターの合計 5,000 人を含む)、その約半数がヨーロッパからの渡航者
- ・ビジターの滞在期間は 15~36 日 (居住国によって異なる)
- ・直接消費は総額 1 億 6,800 万ポンド (※1 ポンド=189 円換算)
- ・オーストラリア経済での追加業界売上高が 2 億 800 万ポンド増加
- ・オーストラリア経済の国内総生産 (GDP) が 1 億 2,200 万ポンド貢献

○RWC2007 (フランス)

- ・チケット販売枚数は 220 万枚以上、平均観客数は約 47,000 人、収容率は 94%
- ・スタジアム投資は約 3,500 万ポンド (※1 ポンド=236 円換算)
- ・大会前の調査による予測
 - 海外からフランスへのビジターは 35 万人、うち 27 万 5,000 人が試合を観戦
 - 直接的な経済効果は総額約 8 億ポンド
 - 国内での観客による消費によりさらに 17 億ポンドの増加
- ・大会後の調査による予測
 - 7 週間の大会開催期間中だけでフランス経済にもたらした追加純利益は、3 億 6,300 ポンドを超える。ただしこの金額は、フランス企業によるテレビ放送権料、スポンサーシップ、チケット購入費などの支払いを含むフランス経済源から、すべての RWC 関連出費を差し引いたものである。したがって、RWC2007 の大会後の調査については、大会前の調査やその他の同様の調査の大半とは異なる手法が使用されている。出費を差し引くことにより、3 億 6,300 万ポンドの金額は、少なくとも 2 億ポンド減少したと考えられる。

○RWC2011（ニュージーランド） <推定>

- ・ 予想される観客動員総数は 150 万人、平均観客数は 30,600 人、収容率は 85%。
- ・ 海外からのビジターの合計は 71,000 人（メディア要員及び VIP ビジターの合計 5,000 人を含む）
- ・ 海外からのビジターのうち約 3 万人はヨーロッパからの渡航者
- ・ ビジターの滞在期間は 11～24 日
- ・ 直接的な経済効果は総額で 4 億 5,600 万ポンド（※1 ポンド=127 円換算）
- ・ ニュージーランド経済における国内総生産（GDP）に 2 億 100 万ポンド追加
- ・ ニュージーランド国内で直接的な追加消費額が総額 1 億 8,900 万ポンド追加

■ラグビーワールドカップの税収効果

開催国政府への税収には次のようなものがある。

- ・ 開催国内で RWC 関連の売上から発生する消費税。これには付加価値税（VAT）や物品サービス税（GST）が含まれる。この消費税は主に、開催国内での直接的な消費とチケット販売から発生する。
- ・ 法人（法人所得）税：RWC 開催による企業の増収から発生する。
- ・ 個人所得税：RWC 開催や海外選手の受け入れによって発生した追加雇用から発生する。

○RWC2003（オーストラリア）

- ・ ビクトリア州の税収が推定 450 万ポンド増加
- ・ 48 試合のうち 7 試合（15%）がメルボルンで行われた。ビクトリア州と同レベルの税収の増分が他の州でも発生すると仮定した場合、オーストラリア全体で 3,100 万ポンドの税収の増分となる。

○RWC2007（フランス）

- ・ フランス政府の税収に関しては正確な金額は発表されていない。
- ・ しかし、両大会の経済効果を相対的に考え、この金額が RWC2011 の推定額を超えると見込んでいる。

○RWC2011（ニュージーランド） <推定>

- ・ ニュージーランドの税収の増分は合計で 4,400 万ポンド。
- ・ このうち 64%を物品サービス税（GST）が占め、残りを法人税と所得税がほぼ半分ずつ占めている。
- ・ 滞在期間中のビジターの消費は GST に直接的な影響を与えるため、特に海外からのビジターの数を含むビジター数が多い事が非常に重要であることは数値によって明らかである。

	2003 オーストラリア	2007 フランス	2011 ニュージーランド
	2003/10/10～11/22	2007/9/7～10/20	2011/9/9～10/23
出場チーム(国)数	20	20	20
観客数(人)	1,890,000	2,250,000	1,500,000
1試合あたり平均観客動員数(人)	39,400	46,900	30,600
テレビ放映地域 国数	194	238	207
チケット販売枚数	1,900,000	2,250,000	1,350,000
テレビ視聴者数(人)	のべ 3,400,000,000	のべ 4,000,000,000	のべ 4,000,000,000
視聴総世帯数(世帯)			のべ 750,000,000
放映時間(時間)			14,595
大会公式アプリダウンロード(件)			3,500,000
大会公式ウェブサイトアクセス人数 (ユニークユーザー)			17,500,000
大会公式ウェブサイトアクセス数(件)			40,700,000
海外からの観戦渡航者(人)	65,000	350,000	133,000
公式Facebookファン登録数(人)			1,500,000
公式Twitterフォロワー(人)			115,000
観戦時開催国滞在日数	15～36日		10日以上 全体の75% 21日以上 全体の36% 35日以上 全体の13%
大会非出場国からの渡航(人)			12,976
公式ツアー・ホスピタリティプログラム 販売実績(件)			134,000
公式ツアー・ホスピタリティプログラム 販売国数実績(カ国)			48
大会ボランティア数(人)			実動: 5,564 登録: 6,153
関連実施イベント (件)			1,200

2011年の数値は WRC2019 組織委員会 2013.5 資料からも引用

<別紙>

・RWC2019 札幌ドーム補足資料 A3

・札幌市地域防災計画